



「いんてりあ図鑑」は……

色………

色の表示方法

マンセル色立体

色相とトーン

色の対比・混合・視認性

色の名前(慣用色名)

インテリアコーディネーターをめざす人のための資料室です。

This Homepage………

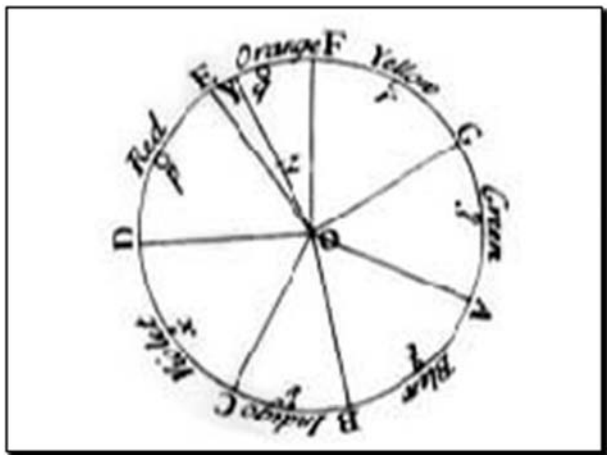
of the Interior Coordinator,

by the Interior Coordinator,

for the Interior Coordinator.



●ニュートン色環



太陽の光をプリズムを通すと、赤・橙・黄・緑・青・紫の連続色に分れる現象を分析し色の光を初めて明快に説明した。この分光された光をスペクトルという。（1704年）



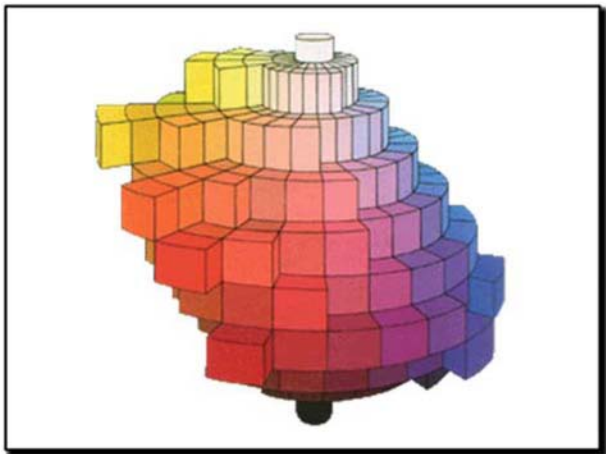
●ゲーテ色環



プリズムから分光された光を調整し、色を重ねて行くと最終的に青、赤、黄となる。ゲーテはこれを色の三原色とした。この三原色を中心にした色彩環。（1793年）



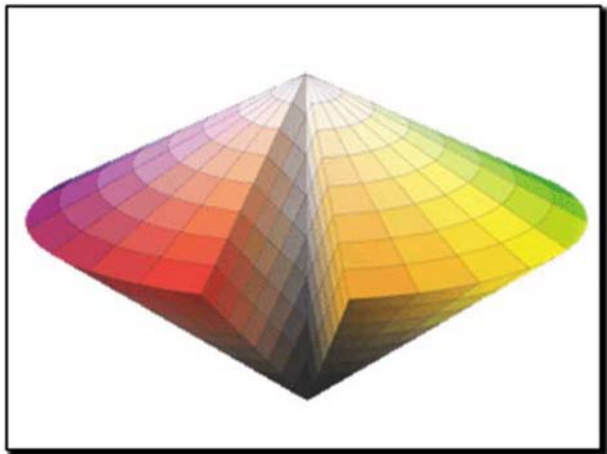
●マンセル色立体



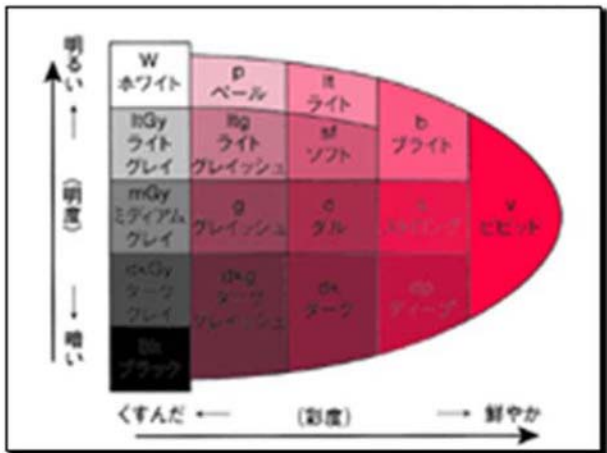
基本色相は10色。色相、明度、彩度、それぞれに色の差が等間隔に感じられるように色を配列した、顕色系のカラーシステム。表色系は、解りやすいので「色のものさし」として、現在でもインテリア、デザイン分野などで広く用いられている。（1915年）



●オストワルト色立体



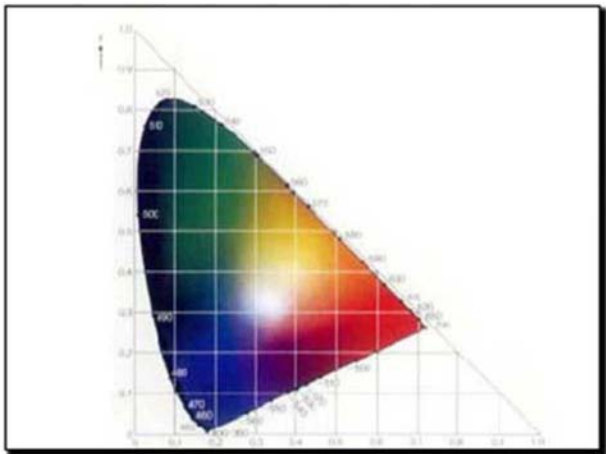
基本色相は8色。白と黒と純色の回転混色によって様々な色を表した、混色系のカラーシステム。白色量、黒色量、純色量の混合比率を基準とし尺度化されている。(1917年)



日本色彩研究所による、顕色系のカラーシステム。基本色相は24色。慣用語に近い表示方でイメージがつかみやすい。色彩調和という伝統的（かさねの色）な考え方から明度と彩度を組み合わせたトーンによる分類を採用。（1964年）



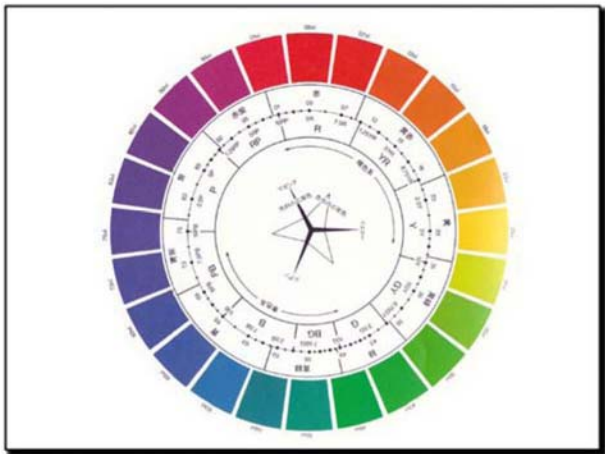
●CIE (XYZ系色度座標)



CIE (国際照明委員会) が定めた色の表し方。色を加法混色の原理に基づいて、三原色 (赤・緑・青) の混合量によって表す体系。この色の表し方は物体色だけでなく全ての色を表すことができ、精密に色を表す場合などに採用されている。(1931年)



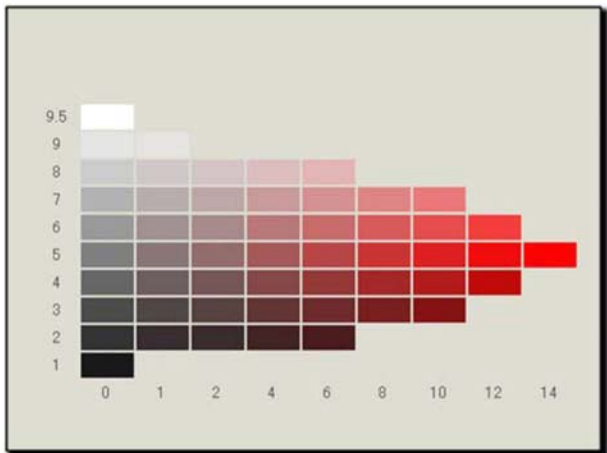
●色相(Hue)



色相(Hue)は、赤(R)・黄(Y)・緑(G)・青(B)
・紫(P)の5色と、それぞれの間の黄赤(YR)・
黄緑(GY)・青緑(BG)・青紫(PB)・赤紫(PR)の
5色の中間色相を加えた10色の色相が基本
になります。



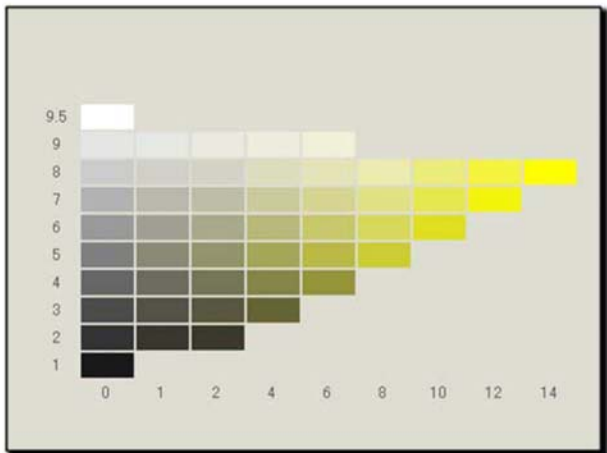
●明度(Value)



明度(Value)は完全な黒を0，完全な白を10として、この間を等間隔に11段階に分けています。



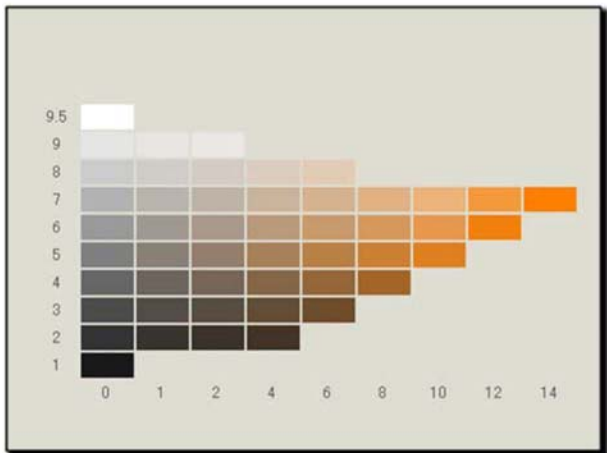
●彩度(Chroma)



彩度(Chroma)は無彩色を0として最大14程度までとなっています。



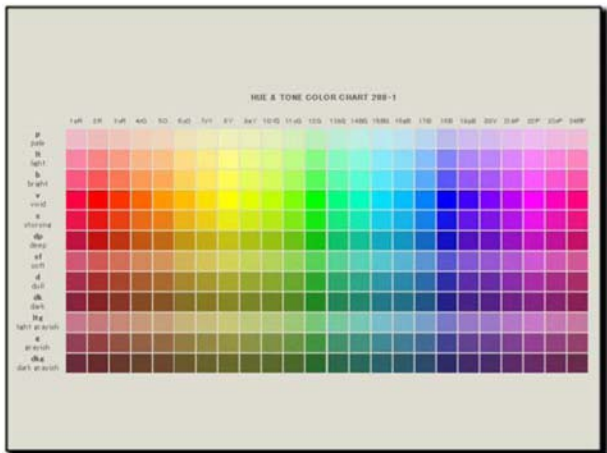
●有彩色・無彩色



表示方法は有彩色の場合はH V / Cで表します。無彩色はNで表します。



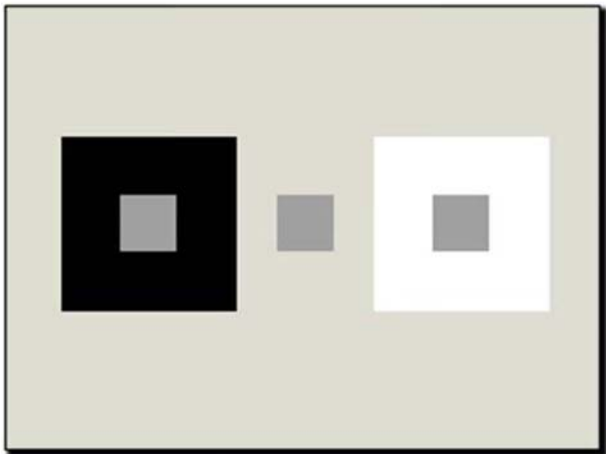
●色相とトーン



色を、明るい、暗い、あざやかな、鈍い、くすんだなど色調で表す。トーン（色の調子）は明度と彩度を整えて、グループ化したもの。色彩調和に有効なものとして広く利用されている。



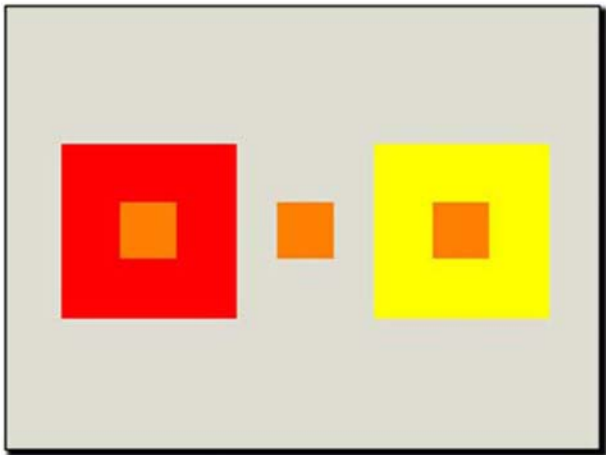
●明度対比



暗い色を背景にしたときは本来よりも明るく、明るい色を背景にしたときは本来よりも暗く見え、明度が変化して見えます。



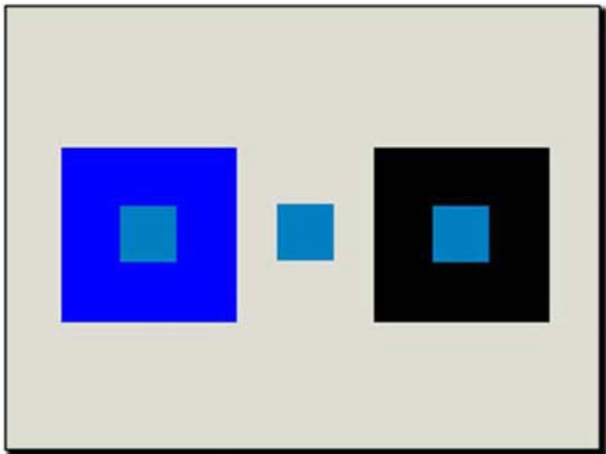
●色相対比



赤を背景にした橙は黄みをおびて見え、黄を背景にした橙は赤みをおびて見えます。橙は本来の色相と異なって見えます。



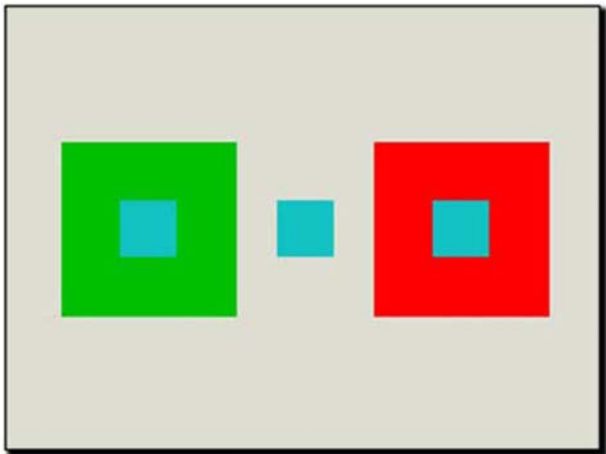
●彩度対比



あざやかな色を背景にしたときはより鈍く、くすんで見え、くすんだ色を背景にしたときはよりあざやかに見え、彩度が変化して見えます。



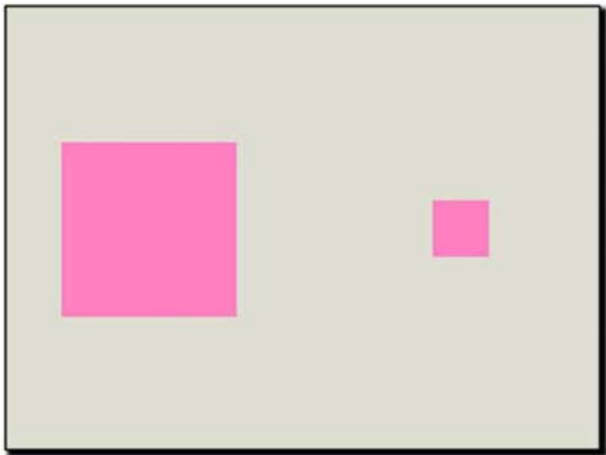
●補色対比



左は同系色相の背景ですが、右側は背景が補色であるため、中の色がよりあざやかに見えます。



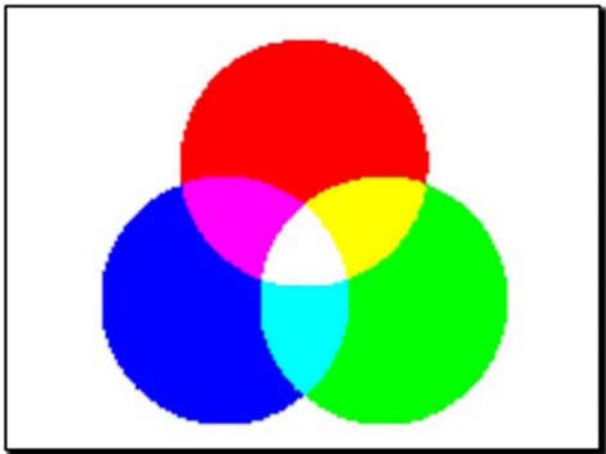
●面積対比



同じ色でも面積が大きい場合は明るく鮮やかに見えるのに対して、小さな場合は暗く、濁って見えます。



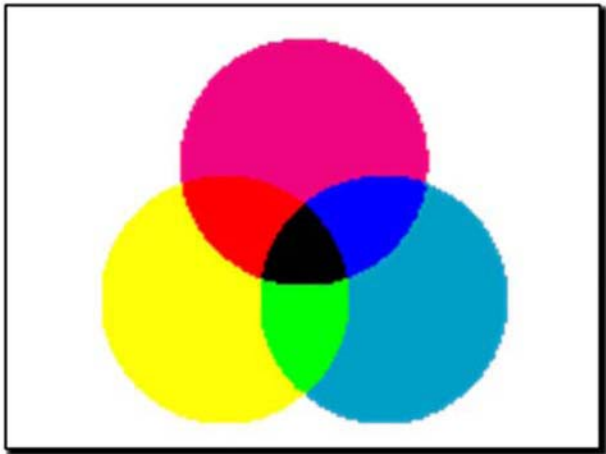
●加法混色(光の三原色)



R (赤) ・ G (緑) ・ B (青) の三色の組み合わせ。テレビやディスプレイでの色はこの組み合わせによる。三色混合すると白い光になる。混合するほど明るくなる混色のことを言う。



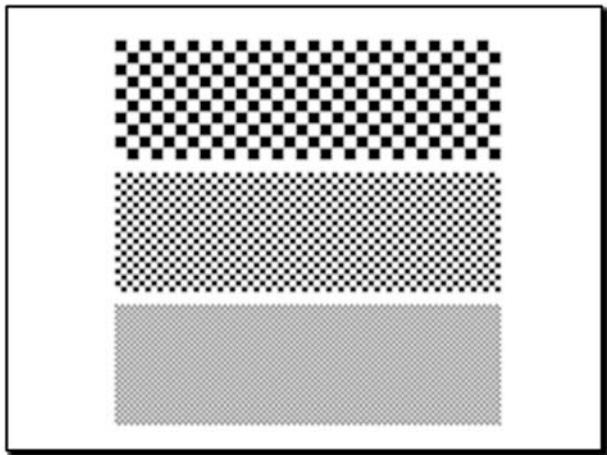
●減法混色(色の三原色)



マゼンダ（赤紫）・シアン（青緑）・イエロー（黄色）の三色の組み合わせ。カラー印刷などの混色。ただし印刷にはこの三色の他に黒を加えた4色を用いる。混合するほど色味が無くなる混色のことを言う。



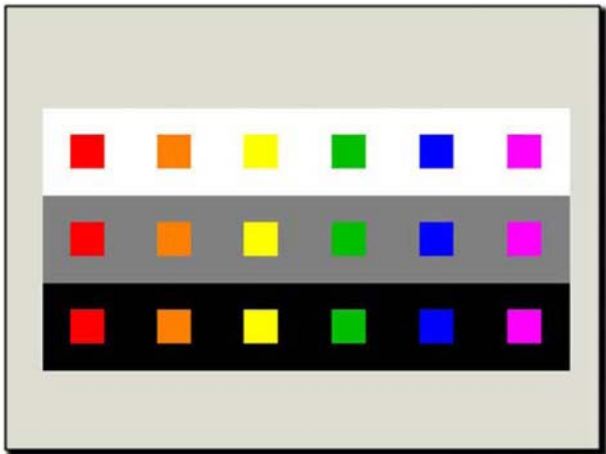
●中間混色



色で塗り分けた円板を回転させたり、織物や編物のように異なる色の細かい点を並べたときに見られる混色では中間の明るさになります。



●色の視認性



サインや看板などは図と地（背景）の明度差を大きくすると遠くからでも目立ち、視認性が高まります。



Interior Zukan

●青磁色 seiji-iro

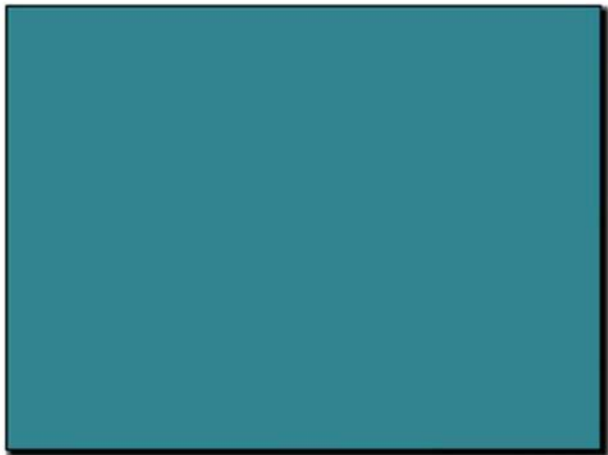


青磁のような色 (2.5G 6.5/4)



Interior Zukan

●あさぎ色 asagi-iro



薄いネギの葉の色 (2.5B 5/8)



Interior Zukan

●とき色 toki-iro



ときの風切羽や尾羽の色 (7.5RP 7.5/8)